

2025年12月8日

環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平

担当ワーキンググループ主査 鈴木 克徳

インド国ベンガルール・メトロ建設事業（フェーズ3）

（協力準備調査（有償））

ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2025年11月14日(金) 14:00～18:39
- ・場所：JICA本部（2階202会議室）及びオンライン
- ・ワーキンググループ委員：阿部委員、石田委員、貝増委員、重田委員、鈴木（克）委員、山岡委員
- ・議題：インド国ベンガルール・メトロ建設事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【DFR】インド国ベンガルール・メトロ建設事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））
 - 2) 【SC案助言対応表】インド国ベンガルール・メトロ建設事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））
 - 3) 【SC案回答表】インド国ベンガルール・メトロ建設事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））
 - 4) 【追加配付資料】GESIAP
 - 5) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2022年1月）

全体会合（第174回委員会）

- ・日時：2025年12月8日(月) 14:00～17:08
- ・場所：JICA本部（2階202会議室）及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 耐震設計条件を含む最終的な Design Basis Report (DBR) はまだ確定していない一方で、JICA 融資対象工区の入札書類は詳細設計コンサルタントが 11 月中に実施機関に提出する見込みである。設計図書と入札図書との整合性を確認するように実施機関に申し入れること。
2. ダブルデッキによる道路、メトロに起因する大気汚染、騒音・振動の複合影響については、詳細設計段階で構造形式・車両諸元・運行条件・交通量等が明らかになった時点でそれらの影響に関する詳細な定量的評価を行い、その結果を踏まえて具体的な緩和策、モニタリング計画を検討し、必要に応じて環境管理計画、環境モニタリング計画の見直しを行うことを FR に記載すること。
3. ジェンダー配慮と社会的弱者について、実施機関の上位方針である GESIAP (Gender Equality and Social Inclusive Action Plan) と、本事業において実施機関が行うジェンダー配慮と社会的弱者への対応の位置づけや枠組、それぞれの担当範囲を明確化し、その内容を FR に記載すること。

環境配慮

4. 騒音のモニタリング地点について、最も道路端に近い住居等での測定を行うように見直しを行う旨を FR に記載すること。

社会配慮

5. TOD (公共交通機関志向型の開発) は人々のウエルビーイングを含む包括的な交通政策であるところに特徴があるため、アフォーダブル住宅確保やインフォーマルエコノミーへの十分な配慮を含めた沿線開発を行うよう、実施機関を介して、カルナタカ州ならびにベンガルール市政府に申し入れること。

以上